**様式２**

令和３年度畜産・酪農生産力強化対策事業（繁殖性等向上対策事業

のうち効率的な生産体系の確立に向けた技術支援）計画書

応募団体（取組主体）：

１　事業の概要

 どういう場所で（所在地等）、どういう事業目的、事業内容で計画しているのかを簡潔に記載。

２　事業の必要性

　　　事業を実施する地域における課題及び解決のための取組みの新規性・先導性・優位性等について具体的に記載。

３　事業の効率性

　　　効率的な事業執行のための事業計画の工夫や執行体制等について具体的に記載。

４　事業の有効性

 事業の実施によってもたらされる効果及び普及のための取組み等について具体的に記載。

５　成果目標（事業実施後の効果）

|  |  |
| --- | --- |
| 成果の具体的な内容 | 成果目標値（分娩間隔） |
| （例：分娩間隔の改善） | 直近(令和２年度末) | 　　　　　　　　　効果(令和４年度末) | 分娩間隔の短縮 |
|  日 | 　　　　　　　日 | 　　　　　　　％ |
| 評価年度並びに成果の検証方法（直近値及び効果設定値の算出方法等） |
| （※客観的な手法（方法により検証ができることを原則とする。） |

 （注）本欄には、取組主体自らが行う評価の内容等を記載すること。

　　　　なお、成果目標値の評価は、事業実施年度の翌年度として設定するものとする。

６　事業の内容

（１）総括表　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業の内容 | 事業費 | 補助額 | 備考 |
| 効率的な生産体系の確立に向けた技術支援ア　畜産技術の実証・普及イ　繁殖性の向上ウ　子牛の損耗低減対策エ　肥育用雌牛等を用いた増頭対策 　 |  | 　　　　　　　 |  |
| 合　計 |   | 　　　　　 |  |

 ※積算内訳は様式３号に記載。

（２）事業の内容及び計画

ア　畜産技術の実証・普及

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 事業の内容及び計画 |
|  |  |

（注）個別農家を対象とした指導と集団を対象とした指導を区分して記載する

ものとし、最下行には合計を記載すること。

指導を担当する畜産技術者の経歴等

|  |  |
| --- | --- |
|  技術者の性別、年齢 |  |
|  技術者の地域における活動の実績 |  |
|  | （技術者の表彰歴・所有資格等） |

　イ　繁殖性の向上

|  |  |
| --- | --- |
| 　項目 | 事業の内容及び計画 |
|  |  |

　（注）個別農家を対象とした指導と集団を対象とした指導を区分して記載するものとし、最下行には合計を記載すること。

ウ　子牛の損耗低減対策

|  |  |
| --- | --- |
| 　項目 | 事業の内容及び計画 |
|  |  |

　（注）個別農家を対象とした指導と集団を対象とした指導を区分して記載するものとし、最下行には合計を記載すること。

エ　肥育用雌牛等を用いた増頭対策

|  |  |
| --- | --- |
| 　項目 | 事業の内容及び計画 |
|  |  |

　（注）個別農家を対象とした指導と集団を対象とした指導を区分して記載するものとし、最下行には合計を記載すること。

７　受益を受ける経営体

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 市町村名 | 受益を受ける経営体（氏名又は法人名） | 品種 | 繁殖用雌牛飼養頭数（応募書提出時現在） | 経営形態 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

８　事業の推進実施体制図

|  |
| --- |
|  |

　（注）実施体制を畜産クラスター計画における本事業の取組主体や関係者の位置づけを模式図等により明確に記載すること。

９ 添付資料

（１）位置図

関係市町村、事業参加予定者及び応募団体の位置。

（２）事業概要図

事業概要等の計画を説明するポンチ絵。

（３）繁殖性向上、子牛の損耗低減対策等のために導入する技術に関する資料

　　　　繁殖性向上に資する機器、和子牛等育成施設等、子牛の損耗低減対策機器等に係るカタログ、知見データ等。

（４）その他

事業計画の説明及び審査の観点に資する資料。